

団体概要書

令和 5 年 2 月 22 日 現在

団体名	(フリガナ)エヌピーオーホッカイドウネウボラ		<p>【活動風景】</p> 
	NPO北海道ネウボラ		
代表者 役職・氏名	代表 坂本 千春		
団体所在区	札幌市中央区		
主な活動場所	札幌市中央区、他市内全区。札幌市近郊から道内。		
電話番号	(080) 8122 - 2555		
メールアドレス	hokkaido.neuvola.somu@gmail.com		
HPアドレス	https://hokkaido-neuvola.com/		
設立年月	2015 年 12 月	活動開始年月	2015 年 12 月
設立目的	子育て家族に優しい共生社会		
活動内容	<p>■赤ちゃんひろばMamMamステーション運営:子連れで参加できる無料の赤ちゃんひろばMamMamステーションを運営。・手稲みらいつくりネウボラ★MamMamステーション毎月第三火曜日 ・Youth+豊平ネウボラ★MamMamステーション毎月第三金曜日</p> <p>■相談支援:LINEなどのオンラインと対面による、利用無料の相談室運営。対面の開催場所:札幌市中央区カウンセリングルーム、札幌市中央区かでの2.7北海道立女性プラザ内ミーティングスペース。</p> <p>■訪問支援:・札幌市子ども見守り事業 ・札幌市女性の孤立孤独に関わる訪問支援事業 ・子ども宅食応援団 北海道子ども宅食プロジェクト</p>		
活動実績	<p>2022年度実績</p> <p>■赤ちゃんひろばMamMamステーション運営:市内四箇所月一回4×12ヶ月の開催</p> <p>■相談支援:LINEなどのオンライン26件、対面2件。ひろば、子ども食堂など居場所及び訪問の支援におけるオープンダイアログによるメンタル緩和を目指しそれ以上の相談に応じる場であるため、対面の相談件数が例年より減っているのは継続的訪問の効果と考えられる。また、コロナ禍の不安状態から改善の兆しが感じられる。</p> <p>■訪問支援:札幌市子ども見守り事業、支援対象児童(新規)300人、活動報告546人。・札幌市女性の孤立孤独に関わる訪問支援事業20件×9ヶ月実施。・子ども宅食応援団 北海道子ども宅食プロジェクト こども宅食応援団のネットワークとフードバンクからの提供品等を活用した事業と、札幌市を中心とした道内にこども宅食を活用するための北海道子ども宅食プロジェクトを実施。</p>		
活動分野	<input checked="" type="checkbox"/> 1 保健、医療、福祉の増進 <input type="checkbox"/> 2 社会教育の推進 <input type="checkbox"/> 3 まちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 4 観光の振興 <input type="checkbox"/> 5 農山漁村又は中山間地域の振興 <input type="checkbox"/> 6 学術、芸術、文化又はスポーツの振興 <input type="checkbox"/> 7 環境の保全 <input type="checkbox"/> 8 災害救援活動 <input type="checkbox"/> 9 地域安全活動 <input type="checkbox"/> 19 前掲の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助	<input type="checkbox"/> 10 人権の擁護又は平和の推進 <input type="checkbox"/> 11 国際協力の活動 <input type="checkbox"/> 12 男女共同参画社会の形成の促進 <input checked="" type="checkbox"/> 13 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 14 情報化社会の発展 <input type="checkbox"/> 15 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 16 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する <input type="checkbox"/> 18 消費者の保護を図る活動	

※記載欄が不足する場合など、この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます